

経営比較分析表（令和6年度決算）

大分県 臼杵市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	52.60	92.72	2,990	

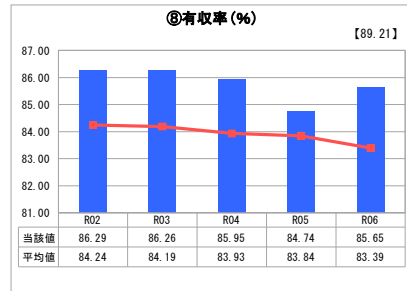
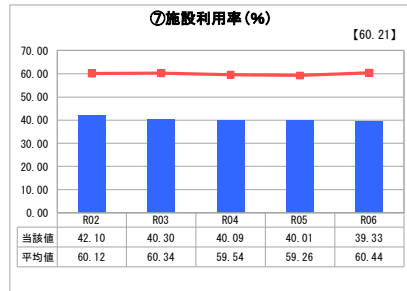
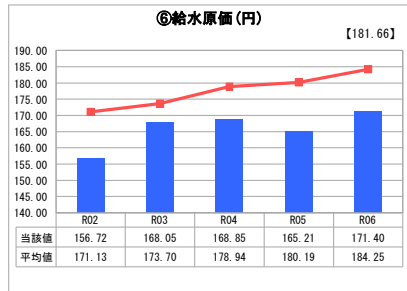
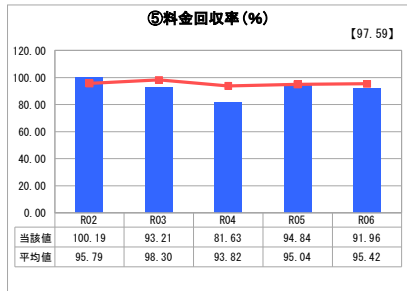
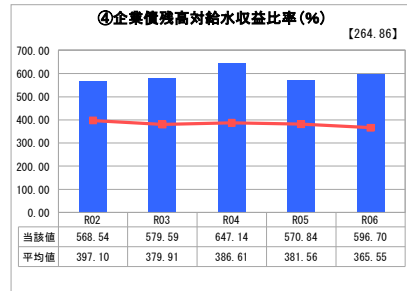
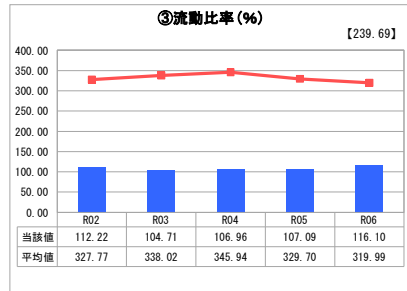
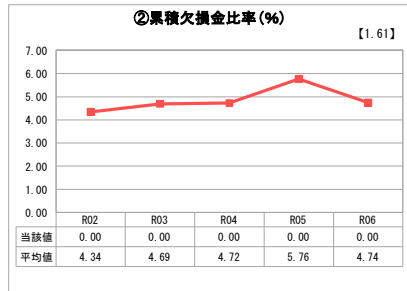
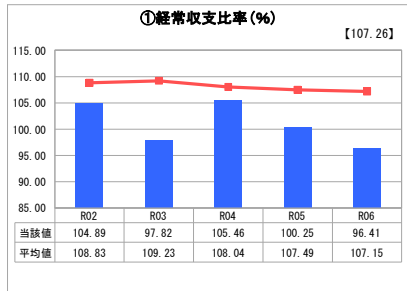
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,895	291.20	119.83
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
32,071	113.10	283.56

グラフ凡例

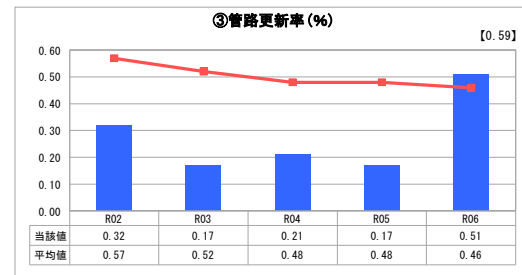
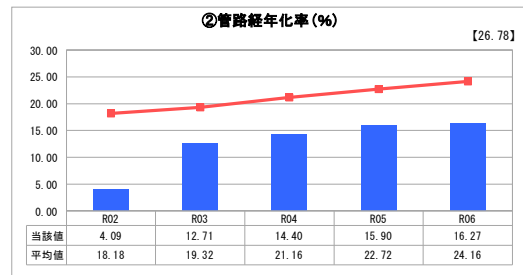
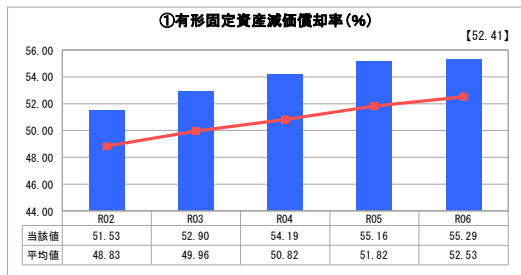
- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①『經常収支比率』・・・100%を下回り類似団体平均及び全国平均よりも低くなっています。給水収益が減少傾向で動力費や修繕費等の維持管理費用が高騰しており今後も厳しい状況が見込まれます、料金改定の検討が必要です。

②『流動比率』・・・100%を超えているものの類似団体平均より著しく低い状況です。事業規模に応じた支払い能力を確保する必要があり現金残高に注視した運営が必要です。

③『企業債残高対給水収益比率』・・・企業債残高が増加しており類似団体平均及び全国平均を大きく上回っています。今後も水道施設の大型事業や上下水道耐震化計画に基づく事業も必要のため企業債残高の増加は避けることの出来ない状況です。

④『料金回収率』・・・類似団体平均とほぼ同様の状況で100%を下回っています。今後も給水収益の減少や維持管理費用の増加が見込まれており、料金改定による給水収益の確保と費用削減が課題です。

⑤『給水原価』・・・類似団体平均及び全国平均を下回っているものの、動力費や修繕費等の維持管理費用が高騰しており今後も増加が見込まれます。

⑥『施設利用率』・・・施設数が多く配水能力も高いことから類似団体平均及び全国平均と比較して低い水準にあると思われる。今後施設のあり方について統廃合も含め検討が必要です。

⑦『有収率』・・・類似団体平均を2.26ポイント上回りましたが、全国平均を下回っています。今後も漏水対策等を行い有収率向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

①『有形固定資産減価償却率』・・・平成30年度以降数値は上昇傾向で、他都市と同水準で施設の老朽化が進んでいる状況です。管路よりも大型施設の老朽化が進んでいることから施設の更新や耐震化の大型事業を計画的に行うとともに、上下水道耐震化計画に基づいた事業も行います。

②『管路経年化率』・・・法定耐用年数を超えた管路の延長は、類似団体平均及び全国平均を下回っていますが、今後は、上下水道耐震化計画に基づいた管路の更新を計画的に行うこととしています。

③『管路更新率』・・・昨年度までは類似団体平均及び全国平均を下回った水準でしたが、本年度は老朽化対策に努めたことで類似団体平均を上回っています。今後も計画的に更新していく必要があります。

全体総括

本市では、水道管よりも施設の老朽化が進んでいることから大型施設の更新を優先して行っており、水道管については、経年化率が全国平均を下回っているものの、AIによる水道管劣化診断と水道管更新計画を作成し、計画的な漏水・老朽化対策と上下水道耐震化計画に基づいた基幹管路等の耐震化を進めることとしています。しかし、自治体規模の縮小が水道事業にも影響し専門的知識・技術を持った人材の確保が困難となっており安定的な事業運営への影響が危惧されます。このような中、年々、人口減少等による給水収益の減少、物価高騰等の影響による動力費や修繕費等の増加から経営状態が悪化しており、経営改善策の効果が発揮し難い状況で料金改定はやむを得ないものと考えています。このため、令和7年度から料金改定の条件整理等に着手することとしています。